



リリースノート(参考資料)

AdRem NetCrunch 11

NetCrunch は AdRem Software が開発し所有する監視ソフトウェアである。
株式会社情報工房は日本における総販売代理店である。

©2022 Johokobo, Inc.

[20220126]

目次

1. 本資料について	1
2. NETCRUNCH 11 の新機能/変更点/修正点.....	1
2.1. バージョン 11.0.2.5315.....	1
2.2. バージョン 11.0.3.5318.....	2
2.3. バージョン 11.0.4.5336.....	2
2.4. バージョン 11.0.5.5351.....	3
2.5. バージョン 11.0.6.5359.....	4
2.6. バージョン 11.0.7.5378.....	4
2.7. バージョン 11.0.8.5392.....	5
2.8. バージョン 11.0.9.5400.....	6
2.9. バージョン 11.0.10.5402	6
2.10. バージョン 11.0.11.5407	7
2.11. バージョン 11.0.12.5414	7
3. 既知の問題	7
3.1. その他	7
4. よくある質問.....	8
4.1. よくある質問および回答	8

1. 本資料について

本資料では、AdRem NetCrunch バージョン 11.0.12.5414 日本語版(以下 11)について記しております。

2. NetCrunch 11 の新機能/変更点/修正点

NetCrunch 11 での新機能、変更点、修正点について記載いたします。

2.1. バージョン 11.0.2.5315

- イベントログ分析ビューの追加 - 様々な要約ビューで一般的な時間範囲(24 時間、7 日、および 30 日)に関する包括的なビューを表示
- IP ツールの刷新 - デスクトップおよび Web 用の 12 個の機能を持つ IP ツールを NC サーバーまたは任意のリモートプローブから実行できます
- カメラセンサーの刷新 - 「カメラ画像が改ざんされた可能性がある場合のアラート」、「カメラ画像が参照画像と異なる場合のアラート」、「動作検出に関するアラート」などのいくつかの新しいアラートをサポート
- DICOMC-ECHO センサーの刷新 - 「CallingEAtitle」および「CalledEAtitle」構成をサポート
- イベントログ履歴ビューの追加 - アラート履歴(イベントログ)で迅速なフィルタリングとグループ化を提供するアドホック分析を可能
- コンソール通知の刷新 - Windows10 の通知システムと統合され優れたエクスペリエンスを提供します。Web コンソールでも表示が可能
- リモートプローブの刷新 - ESXi、vCenter、Windows、Linux、Mac OS、BSD、Solaris、SNMPトラップ、Syslog メッセージ、Web メッセージ、汎用エージェント要求、IPSLA、70 以上のセンサー、70 以上のネットワークサービス、および 150 を超える監視パックの使用が可能
- Windows エージェントレス監視の刷新 - RPC または WMI で監視が可能
- 以下の監視パックの追加、修正
 - ・基本的な Windows 認証監視 - 明示的な資格情報または特別な特権が割り当てられた状態でログオンが試行されたときに、短時間に複数のログイン失敗イベントが発生した場合にアラートを生成
 - ・基本的な Windows GPO 監視 - グループ/ドメイン/承認ポリシーの変更が発生した場合にアラートを生成
 - ・CiscoMeraki クラウドコントローラー(SNMP) - インターフェースからの統計情報のコレクションを表示します。不正な DHCP サーバー、クライアント IP の競合、ケーブルエラーなど、多くの重要なイベントを検出
 - ・HW グループ - Damocles (SNMP) - Damocles センサーから収集された値を表示します。水、ガス、電気などに関連する指標からの情報を表示
 - ・HW グループ - PWR(SNMP) - HWG-PWR デバイスの外部 M-Bus メーターを

監視

- ・HW グループ - STE(SNMP) - 外部センサーから温度と湿度の値を収集
- ・HW グループ - STE2(SNMP) - 「HW グループ - STE(SNMP)」と同様です。
温度および湿度センサーも含まれたレポートとなります
- ・HW グループ - WLD(SNMP) - 水漏れ検出に関するレポート
- ・NVIDIA Quadro GPU - NVIDIA Quadro グラフィックカード専用。GPU、メモリ、バスの使用率が高いことに関するアラート。コアクロック、ファン速度、温度、および消費電力からのメトリックも表示
- ・ZyXel USG Flex (SNMP) - メモリ、フラッシュ、CPU の使用率が高いときにアラートを検出。VPN から情報を収集
- メモビューの追加 - 全てのノードから集約されたノートを表示
- レポート機能の拡張 - パフォーマンスレポートの新しいレポートビューアと拡張されたレポート機能
- タイムゾーン - 異なるタイムゾーンにある NetCrunch サーバー、プローブ、コンソールのサポート
- ユニファイドトレンドビューアー - デスクトップと Web コンソールに同じユーザーエクスペリエンスを提供
- Apache Web サーバーの更新 - 最新の Apache サーバーの監視をサポート
- Web コンソールの刷新 - 更新通知、トレンドビューア、優れたグリッドビュー、外部イベントなどを含む
- vCenter 監視の追加 - vCenter 経由で ESX ホストを監視
- 削除された主な機能
 - ・トレンドエクスポート
 - ・トレンドビューアのファイル出力、数値データ表示、詳細表示
 - ・イベントログのエクスポート

2.2. バージョン 11.0.3.5318

- 全体的な安定性の修正
- ローカライズ版データのアップグレードに関する問題を修正

2.3. バージョン 11.0.4.5336

- ユーザーアクセス権の管理に関する問題を修正
- 管理者ユーザーへのレポート送信の問題を修正
- NC10.9 で利用可能だったレガシーライセンスの不足している問題を修正
- 10.9.3 からアップグレード後の Windows 監視の問題を修正
- アトラスビューによるフィルタリングがノード選択ウィンドウで機能していない問題を修正
- 既存の NetCrunch サーバーインスタンスを更新できない問題を修正
- 認証情報に特殊文字が含まれている場合の ESXi 監視の問題を修正

- カンマを含むパスワードを使用できなかった問題を修正
- DNS 名でアンダーバー文字を入力できるように修正
- 「Windows サービスが実行されていません」のアラートが正常に動作しなかった問題を修正
- 「データセンター」カスタムフィールドの値がフィルタリング式のリストに表示されない問題を修正
- DNS 名を使用して NetCrunch コンソールにログインできなかった問題を修正
- 値の代わりにパラメータ名を使用したアラートアクションに関する問題を修正
- イベントの詳細とメール通知に SNMP トラップパラメータが表示されなかった問題を修正
- 数分後に IP ツールが停止する問題を修正
- 自己署名 SSL 証明書を使用した ServiceDeskPlus サーバーとの統合に関する問題を修正
- Google アカウントでカスタマーポータルにサインインした場合のブラウザに関する問題を修正
- アップグレード後に、ノードのコンテキストメニューに冗長オプションが表示される問題を修正
- Safari ブラウザで[ノード]タブに空白で表示される問題を修正

2.4. バージョン 11.0.5.5351

- System Uptime センサーを WMI で使用できなかった問題を修正
- 「値が取得されなかった」アラートに関する問題を修正
- Kaspersky で AdRemCefHelper.exe をマルウェアとして報告する誤検出に関する問題を修正
- NetCrunch マシンの Windows パフォーマンスカウンタの監視 パスが間違っているため、一部のレポートが空だった問題を修正
- 255 リクエスト後に Radius センサーが正しく機能しない問題を修正
- NetCrunch サーバーのポートが変更されたときの GrafCrunch の更新に関する問題を修正
- テンプレートの監視に関連するいくつかの問題を修正
- 認証なしで TLS を使用した電子メールの送信に関する問題を修正
- アラート履歴のノード列のサイズに関する問題を修正
- 通知パネルに軽度の重要度アラートのアイコンが表示されなかった問題を修正
- アップグレード後の Windows ディスクパフォーマンスカウンタに関する問題を修正
- Generic Agent の REST ハンドラーでの接続の早期終了する問題を修正
- アクションログにスクロールバーが表示されなかった問題を修正
- Web コンソールでノードテーブルのノード列の並べ替えが機能していなかった問題を修正
- アトラスをインポートした後、フローにカスタムアプリケーション定義がなかった問題を修正
- [イベントの詳細]ウィンドウのアクションログにスクロールバーが表示されなかった問題を修正

- インターフェースの式エディターにヒントが表示されなかった問題を修正
- ダッシュボードのセンサータイトルにセンサー識別子が表示されなかった問題を修正
- Web コンソールにグリッドビューが表示されなかった問題を修正
- 複数選択での間違っただインターフェースのタイトル状態に関する問題を修正

2.5. バージョン 11.0.6.5359

- WMI 接続タイプを使用した際の Windows パフォーマンスカウンタ値が正しくない問題を修正
- OS 監視が、監視無効にした後もカウンタ情報を収集していた問題を修正
- GenericAgent が cURL リクエストからデータを受信していなかった問題を修正
- IPSLA 設定操作方法を改善
- IP ツールがコンソールモードのみでしか機能しない問題を修正
- 利用可能な新しいバージョンに関する誤ったコンソール通知機能の修正
- アクティブなアラートの「クローズ」時間の値が正しくない問題の修正
- PL / DE / FR 言語バージョンでのレイアウト/タイプミス問題の修正
- ESXi 稼働時間カウンタに関する問題の修正
- Web ページセンサーのカスタム設定による Cookie が使用されなかった問題の修正

2.6. バージョン 11.0.7.5378

- リモートプローブの再接続に関する問題を修正
- ローカルシステムの特権昇格の脆弱性に関する問題を修正
- フォルダセンサーで数百万のファイルがある大きなフォルダを確認する際の問題を修正
- データパーサー/テキスト解析式に関する問題を修正
- 関連する MIB がコンパイルされていない場合の SNMP 変数値のイベントに関する問題を修正
- センサー、OS 監視のカウンタを追加した後の最初に収集された値が存在しなかった問題を修正
- 不要なチェックコードによりパフォーマンスが低下する可能性がある問題を修正
- 最初のセンサーを追加するときに欠落しているポリシーを収集するための定義済みカウンタに関する問題を修正
- DELL EMC センサーでの新しいバージョンの Unity OS のサポートがなかった問題を修正
- アトラスの監視スケジュールが変更された場合の[アラート履歴]タブに関する問題を修正
- WMI Registry Counters センサーが 32 ビットレジストリからオブジェクトを誤って読み取っていた問題を修正
- Root (su)として実行されるアラートアクションに関する問題を修正
- Mac OS ノードでシステムビューが正しく機能しない問題を修正
- MS Teams の統合で新しい Webhook 形式のサポートがなかった問題を修正

- アラートルールを作成するときに、Windows サービスリストの読み込みに時間がかかっていた問題を修正
- 「上位 10 ノードの可用性」および「ノードの概要マップ」レポートに関する問題を修正
- ビジネスステータスノードからオブジェクトを削除することに関する問題を修正
- ファイルアクセスタイプが SFTP の場合、小さいファイルに対して正しく機能しない場合がある問題を修正
- アラートアクションスクリプトへの共通パラメータの受け渡しに関する問題を修正
- ファシリティが kernel の場合の Syslog のデコードに関する問題を修正
- 内部 SMTP から Gmail ヘメールが正常に送信できなかった問題を修正

2.7. バージョン 11.0.8.5392

- TruVision レコーダーセンサーが正しく機能しない問題を修正
- Web ページセンサーが一定期間で機能しなくなる可能性がある問題を修正
- [SSH スクリプトの実行]アクションが正常に動作しない問題を修正
- Windows Update センサーと Windows Task Scheduler センサーの対象数が多い場合、正しく機能しない問題を修正
- デスクトップコンソールを閉じた後、接続が完全にクリーンアップされない問題を修正
- SMTP サーバーの応答が停止し、接続が残っているためにフェイルオーバーが妨げられるメール送信に関する問題を修正
- [Windows プログラムの実行]アクションで DisplayName のパラメータが使用できない問題を修正
- 編集モードを終了せずにマップウィンドウを閉じると、デスクトップコンソールのメモリが破損する問題を修正
- Apache センサーのリダイレクトのサポートに関する問題を修正
- バージョンアップ後、特定のライセンスで一部の監視パックが欠落してしまう問題を修正
- ファイルマスクによる Folder センサーのフィルタリングが正常に動作しない問題を修正
- DELLEMC センサーへのアラート、コレクターの追加に関する問題を修正
- 同じタイプの複数のセンサーが同じノードに追加されている場合のカウンタ収集に関する問題を修正
- NetFlow サーバーの同期問題で、メモリが破損する可能性がある問題を修正
- 灰色の長方形が Web コンソールノードビューでしばらく画面に表示されたままになる可能性がある問題を修正
- NetCrunch Web サーバーへの Safari(iOS および Mac OS)接続を改善する CSP ルールを修正
- ノードからテンプレートを削除できない問題を修正
- DNS 名を使用して HTTP/HTTPS 経由で接続するセンサーが、特定の状況で正しく機能しない問題を修正
- Web ページセンサーが読み込みの遅いページをサポートするように修正
- [SNMP]タブの[稼働時間]列が空になる問題を修正

2.8. バージョン 11.0.9.5400

- プログラムのアンインストール時にアトラスデータが削除される問題を修正
- 7 万以上のアラートルールがあるアトラスの NetCrunch 設定を変更した際、コンソールの接続を失う問題を修正
- Time Difference センサーの NTP サーバーからのカウンタ読み取りに関する問題を修正
- Hyper-V/VM 監視での複数のインスタンスによる動的カウンタのサポート
- netstat がない Linux ディストリビューションで Linux 監視が正常に動作しない問題を修正
- OpenSSL 1.1.1k で生成されたパスワードで保護されたキーが Web コンソールで正常に動作しない問題を修正
- 異なるタイムゾーンにある NetCrunch サーバーとコンソールのサポート
- ノードを削除した際、OS ビューがフリーズする場合がある問題を修正
- ローカルユーザーを使用した Windows イベントログリストの読み取りに関する問題を修正
- 外部イベントの SNMP トラップに対する[アラートの設定]ボタンが正常に動作しない問題を修正
- [SSH スクリプトの実行]アクションで更新されたスクリプトを使用しない問題を修正
- クエリに空白文字が含まれる場合のデータベースからのカウンタの読み取りに関する問題を修正
- ノード構成ウィザードに検索ボックスが存在しなかった問題を修正
- 複数の監視プロファイルを一度で認証情報マネージャーに保存するように修正
- ESXi 監視で HTTPS を使用するノードが追加された時のエラー処理に関する問題を修正
- 特定の場​​合の Web メッセージのアラートルールの変更の保存に関する問題を修正
- 一部のインターフェース名が[ノードステータス]→[パフォーマンス]タブ内で正常に表示できていなかった問題を修正
- リモートプローブ設定で ESXi/Hyper-V ゲスト用に自動作成されたノードで欠落しているノードがあった問題を修正

2.9. バージョン 11.0.10.5402

- 全体的な安定性の修正
- 起動タイプが「手動」の Windows サービスに関連する問題を修正
- データベースセンサーのパフォーマンスデータの表示に関する問題を修正
- スクリプトセンサーでユーザーとパスワードへの特殊文字の使用をサポート
- DELLEMC のセンサーステータスの変更に関するアラートのメッセージを修正
- Freshservice 統合のエラー処理に関する問題を修正
- グループ化が有効になっている場合、短い間隔(1~2 秒)で送信された SNMP トラップが誤った順序で受信される問題を修正

2.10. バージョン 11.0.11.5407

- 全体的な安定性の向上
- ノードがローカルユーザーによって監視されている場合の Windows イベントログファイルリストの読み取りに関連する問題を修正
- Remote SSHScript センサーで存在しないスクリプトへのパスを適切に処理するよう修正
- HTML エlementチェックアラートが Web Page センサーで正常に動作しなかった問題を修正
- Web Page センサーで「リダイレクトに従う」オプションが正常に動作しなかった問題を修正
- 「Windows スクリプト実行」のアクションで「アラートメッセージをファイルへ保存し、そのパスをコマンドラインへ追加」オプションが正常に動作しなかった問題を修正
- ESXi 監視でステータス 500 の失敗リクエストに関する問題を軽減
- 受信した SNMP トラップの OID がアラートルールで設定した OID を含む場合の誤検知の問題を修正

2.11. バージョン 11.0.12.5414

- DB センサーで ODBC ドライバーを使用して Firebird データベースに接続できなかった問題を修正
- 全体的な安定性の向上
- アラートの[履歴]タブで検索が機能しなかった問題を修正
- RFC ヘッダーなしの Syslog メッセージをデコードできなかった問題を修正
- サービスのシャットダウン時にアトラスオプションが保存されなかった問題を修正
- Python パーサーで予期しないタイムアウトが発生した問題を修正
- 多くのファイル(1k 以上)の名前が長い場合、フォルダセンサー内の「フォルダ内の最後に変更されたファイル」のイベントが正常に動作しない問題を修正
- アラートルールの保存後に「範囲」のしきい値演算子に変更される問題を修正
- 一部のデバイス(スタックスイッチなど)のフローソースの複製に関する問題を修正
- 監視を再度有効後に Windows サービスのアラートがトリガーされなかった問題を修正
- NCDiag.zip に無効なパスが含まれていた問題を修正
- 翻訳に関する問題を修正

3. 既知の問題

NetCrunch 11 での既知の問題について記載いたします。

3.1. その他

- Web アクセスを行った場合、マップを表示した際にレイアウトが崩れて表示される。
回避方法:一度マップの[ノード]→[詳細]タブなどを表示したのち、再度[マップ]タブを表示する。
- WMI ツールのイベントログや、Windows イベントログ監視イベントで発生したイベントログのパラメータに表示される発生時刻が間違っている。
- SNMP プロフィールに SNMPv1 を使用した場合、値を収集できないことがある。
回避方法:SNMPv2 を使用する。
- ノードを追加した際にアイコンや OS 監視をデフォルトから変更した場合、追加されたノードに設定が反映されない。
- マップテンプレートで図形や線が引き継がれない
- [オプション]設定内の[SNMPトラップ]の[同じメッセージをまとめる]オプションを使用した際、外部イベントの表示数及びイベント詳細内の「SnmpTrap Count」の数が異なる

4. よくある質問

NetCrunch について、よくある質問について記載いたします。

4.1. よくある質問および回答

- ノードの設定の[DNS 名]欄に日本語を使用できない。
回答:バージョン 8 より仕様変更のため、使用できなくなりました。ファイルからノードの挿入を用いた場合やバージョンアップを行った場合、DNS 名に日本語を使用している場合、プロパティの変更を行うことができません。
- バージョン 6 からのアップグレード後、アラートのメールの件名に DNS 名が表示されない。
回答:バージョン 7 より、イベントログの表示情報の仕様を変更されております。これにともない、デフォルトでメールのメッセージ定義に使用されている「\$Common.AlertInfo」に含まれる情報が変更されました。DNS 名を表示するパラメータとして「\$Properties.DisplayName」がございますので、メッセージ定義にこのパラメータの挿入をご試行ください。
メッセージ定義の編集方法について、以下に例示いたします。
 1. メインメニュー→[監視]→[アラートメッセージ形式]を選択します。
 2. [アラートメッセージ形式]ウィンドウにて[メッセージ形式]を選択します。
 3. [email-txt]または[email]を選択します。
 4. 編集したいメッセージ定義に[パラメータの追加]からパラメータを挿入し、保存します。
- Admin のパスワードが分からない。
回答:Admin のパスワードが分からない場合、nccli.exe を使用してパスワードをリセットすることができます。nccli.exe は、NetCrunch のインストールフォルダ内に用意

されています。

以下に手順を記載いたします。

1. NetCrunch 搭載サーバーのコマンドプロンプトにて、以下のコマンドを実行します。
nccli.exe reset-admin-password
2. コンソールを起動すると、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。ユーザー名に Admin、パスワードは空欄に設定の上、[OK]をクリックします。
3. [NetCrunch パスワードの変更]ウィンドウにて Admin のパスワードを設定の上、[OK]をクリックします。

- NetCrunch から受信したメールが文字化けする。

回答: NetCrunch では、テキスト形式のメールの文字コードが「UTF-8」に設定されています。また、メールのヘッダー内に「MINE-Version: 1.0」という表記が存在しないため、メーラーによっては MINE 形式と認識できず、文字化けする場合がございます。テキスト形式のメールが文字化けする場合、メーラー側で受信したメールを「UTF-8」で表示するか、NetCrunch が送信するメールを HTML 形式に変更することをご検討ください。

- Windows イベントログの監視が行えない。

回答: NetCrunch のサービスの 1 つに、AdRem NetCrunch Server というサービスがございます。このサービスの起動ユーザーは、通常、ローカルシステムアカウントになっております。起動ユーザーがローカルシステムアカウントの場合、環境によっては、Windows イベントログの監視が行えない場合がございます。この事象を解消するには、起動ユーザーを変更する必要があります。

以下に手順を記載いたします。

※Windows の操作については、OS や表示方法によって異なります。

1. NetCrunch のコンソールおよび接続ブローカーを終了します。
2. Windows のスタートメニューから、[NetCrunch サーバーの停止]を選択します。
3. Windows のタスクマネージャーの[プロセス]タブにて、「AdRem NetCrunch Server」または「NCServer.exe」が存在しないことを確認します。
4. Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル]→[管理ツール]→[サービス]を選択し、サービスツールを起動します。
5. [サービス]ウィンドウ上にて、[AdRem NetCrunch Server]を右クリックし、[プロパティ]を開きます。
6. [AdRem NetCrunch Server のプロパティ]ウィンドウの[ログオン]タブにて、[アカウント]を選択し、[アカウント]と[パスワード]を設定します。[アカウント]は、[参照]ボタンから設定を行います。

※Administrators 権限のローカルユーザーまたは NetCrunch の Windows 監視ドキュメントの条件を満たしたドメインユーザーを設定しま

- す。
7. Windows のスタートメニューから、[NetCrunch サーバーの開始]を選択します。
 8. Windows のタスクマネージャーの[プロセス]タブにて、「AdRem NetCrunch Server」または「NCServer.exe」が存在することを確認します。
 9. NetCrunch のコンソールを起動します。
 10. 監視対象の Windows ノードを右クリック→[ノードの設定]を選択します。
 11. 新しく開いたウィンドウの[監視]タブの[Windows]の項目の右側にある歯車のアイコンをクリックします。
 12. [Windows]ウィンドウの[認証プロフィール]の項目で[編集]をクリックします。
 13. [認証プロフィール]ウィンドウにて、[ユーザー名]と[パスワード]を設定します。すでに[ユーザー名]などが設定されている場合は、設定をいったん消去し、再度設定します。
 14. [OK]をクリックし、各ウィンドウを閉じます。

※手順[10.]から[14.]は、各 Windows ノードに対して設定する必要があります。

※AdRem NetCrunch Server の起動ユーザーの変更後、監視問題が発生する場合がございます。手順[14.]まで実施いただき、各 Windows ノードの認証プロフィールの設定後、監視間隔以上の時間監視問題が解消されない場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

- CSV ファイルからノードを追加する際、名前を設定して追加した。当初はノードのキャプションにはホスト名が表示されていたが、いつの間にか名前の表示が消えていた。
回答: CSV ファイルから追加したノードの名前が名前解決できないものである場合、ノードの設定にある[DNS 名]欄に名前が反映されません。この場合、[DNS 名]欄が空欄となり、空欄のまま設定を保存しますと、ノードのキャプションに表示されていた名前が削除されます。ノードの設定を編集する際には、[DNS 名]欄を再設定していただく必要があります。
[DNS 名]欄を使用する以外にノードに名前を設定する方法としては、[表示名]欄とフィールドを使用する方法が考えられます。[表示名]欄を設定しますと、任意の名前をノードのキャプションに反映することができます。また、フィールドに設定することで、メール通知などのメッセージのパラメータを使用することができます。